

2024年12月24日

## Hibakusha Dialogue 一緒に話そう考えよう「核兵器のない世界」

平和・地域活動委員会  
委員長 高橋 由美子

被爆者の皆さんによる草の根の証言活動と「核兵器のない世界」に向けた取り組みが世界に評価され、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。今こそ、被爆者の訴えに耳を傾け、メッセージを受け継いでいくことが求められています。

生後6か月半の時に長崎で被爆し、核兵器の非人道性を伝える講話活動を行っている福島富子さんと、一般社団法人核兵器をなくす日本キャンペーン事務局の浅野英男さんをお招きし、「核兵器のない世界」について語り合う対話会を開催します。福島さんが語り継ぐ長崎被爆者の被爆体験や、ノーベル平和賞授賞式に合わせて企画されたオスロツアーについてもお話いただきます。

一緒に話そう考えよう「核兵器のない世界」を！

- ◆日時 2025年2月14日(金) 14:00~16:00(予定)
- ◆会場 パルシステム連合会東新宿本部 2階会議室、オンライン(zoom)
- ◆定員 会場:30名、オンライン:500名  
※会場参加はパルシステムグループ組合員、役職員及びび子会社・関連会社社員限定です。  
※会場参加の申込者多数の場合は抽選の上、2月3日にご連絡します。
- ◆ゲスト 福島富子さん(神奈川県原爆被害者の会副会長、葉山支部会長)  
浅野英男さん(一般社団法人核兵器をなくす日本キャンペーン 事務局スタッフ)
- ◆主催 パルシステム生活協同組合連合会 平和・地域活動委員会
- ◆協力 一般社団法人核兵器をなくす日本キャンペーン

### 【タイムテーブル(予定)】

時間(配分)	プログラム
14:00~14:10 (10)	開会挨拶・事務局からのご案内
14:10~14:45 (35)	福島富子さん ご講演「長崎被爆者の被爆体験~平和への願い~」
14:45~15:05 (20)	浅野英男さん ご講演「核兵器をなくす日本キャンペーンの取り組み」
15:05~15:15 (10)	「生協パルシステムの核廃絶の取り組み」
15:15~15:25 (10)	休憩
15:25~15:55 (30)	対談「核兵器のない世界をめざして」、質疑応答
15:55~16:00 (5)	閉会挨拶

### 【お申込・その他】

- 以下の URL (Google フォーム) か、右の二次元コードからお申込ください。  
申込フォーム⇒<https://forms.gle/k62ijj6kxibR3Tyt9>
- 会場の定員は30名です。申込者多数の場合は抽選の上、2月3日にご連絡します。
- Zoom コードは、お申込み後の自動返信メールで全員にお知らせいたします。
- 録画視聴希望の方も申込フォームよりお申込みください。事前にお申込みいただいた方に視聴 URL をご案内いたします (後日メールでご案内)。



【申込締め切り】  
会場参加:1月31日(金)  
オンライン:2月13日(木)

【お問合せ先】 パルシステム連合会 地域活動支援室 (担当: 植田)  
TEL:03-6233-7235 / Email:nonbil@pal.or.jp

## 【ゲストのご紹介】



福島 富子(ふくしま とみこ)

長崎被爆 1945 年 1 月 21 日生まれ 被爆当時生後 6 か月半。神奈川県葉山町在住。神奈川県原爆被災者の会 副会長 葉山支部 会長

爆心地より 2.5km の自宅で被爆。自宅と爆心地の間に小高い丘があり直接的な被害を免れる。4 歳の頃に家族より一人離され親戚の家に預けられて、被爆を知らず育つ。親戚の家で着物に親しみ、現在は Peace の文字を刺繍した平和の帯で被爆証言をおこない、2022 年第 1 回締約国会議では大学生にその平和の帯を託す。

被爆当時の記憶はないが、2024 年 4 月より現在 94 歳の長崎被爆者の交流証言者に認定され、講話活動をおこなっている。

2015 年、NPT 再検討会議要請代表団としてニューヨークへ渡航した。2017 年は ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)、2024 年は日本被団協のノーベル平和賞授賞式のオスロツアーに参加した。



浅野 英男(あさの ひでお)

1996 年生まれ。茨城県出身。一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」事務局スタッフ。

創価大学国際教養学部、神戸大学院国際協力研究科博士前期課程を卒業後、フルブライト奨学生として米国ミドルベリー国際大学院モンレー校に進学。米中の核政策および NPT・核兵器禁止条約における核軍縮などについて研究し、2022 年に修士(不拡散・テロリズム学)を取得。大学院在学中には、ジェームズ・マーティン不拡散研究所(CNS)大学院研究助手や核脅威イニシアティブ(NTI)グローバル核政策インターンを務めた。

これまで、核兵器禁止条約第 1 回締約国会議・第 2 回締約国会議、第 10 回 NPT 再検討会議などに日本の市民社会の代表として参加した。2024 年は日本被団協のノーベル平和賞授賞式のオスロツアーに同行。被爆者の方々の通訳やサポート、現地からの配信を行った。